

USPTO、グレースピリオドの調査を開始

2012年12月10日

JETRO NY 諸岡

米国特許商標庁（USPTO）は12月10日付官報¹において、グレースピリオドについて調査を開始すること、そしてその調査に対する意見募集を行う旨公表した。

当該官報によれば、調査の趣旨は以下の通り。

- 多くの欧州の国においては妥当なグレースピリオドが無いが、その重大さが理解されているとは言い難い。
- 過去10年にグレースピリオドの研究は殆どなされておらず、研究者のミスにより特許出願をせずに、時期尚早の開示をしてしまったことについての定量的な研究はなされていない。
- そこで、USPTOは、グレースピリオドが無いことによる商業的な機会損失を推定する研究を行うこととした。

調査の対象は、過去5年に特許につながるような論文を発表した、欧州の大学に所属する研究者を対象とすることを予定している。

調査の方法は、アンケート形式を予定しており、調査対象は3000件。過去の類似の調査から推定して420件（回答率14%）の回収を見込んでいる。

USPTOは、この調査に関して、集められる情報がUSPTOにとって有益か否かや、集められる情報の質、有効性、透明性を高める方法等についての意見を募集している。

意見の提出期限は2013年2月8日とされている。

（了）

¹ [12月10日付官報](#)（PDF）